

会議記録（1）

会議名称	令和4年度第2回北本市自治基本条例審議会
開会及び 閉会日時	令和5年3月2日（木） 開会 午後2時30分                      閉会 午後4時30分
開催場所	北本市栄7番地内「中庭」    UR北本団地集会所
議長氏名	会長 西村一孝
出席委員 （者）氏名	佐藤利彦    高松千恵子    上田久美子    長島幸枝    安江洋 大島優子    大川原啓子    西村一孝
欠席委員 （者）氏名	田島和生
説明者の 職氏名	行政経営部行政経営課企画調整担当GL 高橋良輔 同主任 國友裕太
事務局職員 職氏名	行政経営部行政経営課企画調整担当GL 高橋良輔 同主任 國友裕太
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 地域活動について 3 閉会
配布資料	・次第 ・チェックシート（審議会委員提出用）

会議記録（２）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>本審議会は北本市自治基本条例審議会規則第5条第2項の規定により、過半数の出席が必要です。本日は、委員9名中8名の御出席を頂いていますので、会議が成立することを御報告いたします。</p> <p>また、本日の審議会は地域活動の現場に参加します。参加する現場の収容人数の都合上、傍聴人は募集しませんでしたので、御報告いたします。</p>
事務局	<p><b>2 議事</b></p> <p>それでは、これより議事に入ります。議事の進行につきましては、北本市自治基本条例審議会規則第5条第1項の規定に基づき、会長にお願いをいたします。</p>
西村会長	<p><b>(1) 地域活動について</b></p> <p>それでは本日の進行について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>はじめに、「令和4年度第2回北本市自治基本条例審議会」を会議室ではなく地域活動の現場に参加する形で開催することになった経緯を振り返ります。</p> <p>令和5年1月25日に開催した「令和4年度第1回北本市自治基本条例審議会」では、今期での北本市自治基本条例審議会の進め方について審議していただきました。その審議の中で、令和4年4月に行った答申の「全ての住民が地域での課題を自分ごととして捉え、住民同士が積極的に連携して解決していくことが今後においてますます重要となってくる」という記述から、まちづくりへの市民参加の機運を醸成するために「地域活動の現場を見て、活動の裾野を広げる議論をする」をテーマとして、審議会委員の皆様自ら地域活動の現場に参加していただくということになりました。本日の審議会は、その地域活動の現場に参加する活動の1回目となっております。</p> <p>それではここで本日の審議会に御協力いただきます2名の方を御紹介いたします。北本市社会福祉協議会の小倉明美さんと大塚竜自さんです。お二人から御挨拶を頂きます。</p> <p style="text-align: center;"><b>【北本市社会福祉協議会 小倉氏 大塚氏 挨拶】</b></p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、本日のタイムスケジュールを御案内いたします。この後、審議会</p>

会議記録（２）

	<p>委員の皆様には2つのグループに分かれていただき、一方は「手話べりかふえ」の活動に参加していただきます。もう一方は大塚さんから、大塚さんが携わっていらっしゃる活動の紹介をいただいた上で、意見交換を行っていただきます。およそ30分で各グループを入れ替え、審議会委員の皆様にはどちらの活動にも参加していただきます。その後、午後4時頃から、「中庭」において、審議会委員の皆様全員で、本日の活動への参加をとおしての意見交換をしていただきます。</p> <p>○Aグループ 長島委員 安江委員 大川原委員 西村委員</p> <p>○Bグループ 佐藤委員 高松委員 上田委員 大島委員</p>
西村会長	<p>ただいま事務局より説明がありました。質問等ある方はいらっしゃいますか。</p>
各委員	<p>【特になし】</p>
西村会長	<p>それでは、グループごとに地域活動の現場への参加に移ります。</p>
各委員	<p>【地域活動の現場に参加 ※30分で入替】</p> <p>○Aグループ 「中庭」において「手話べりかふえ」の活動に参加</p> <p>○Bグループ UR北本団地集会所において北本市社会福祉協議会大塚氏と意見交換</p>
西村会長	<p>それでは、地域活動の現場に参加しての感想を各委員よりお願いします。</p>
大川原委員	<p>本日の審議会に参加する前は、「手話べりかふえ」の集まりはどのような集まりなのか分からず不安な気持ちもありました。しかし、いざ参加してみたところ、私自身とても楽しく参加することができました。活動に携わっている方が楽しく活動していれば自然と人が集まってくるというお話がありましたが、本日は実際にそれを感じることができました。</p>
長島委員	<p>広報等を見て「手話べりかふえ」の活動を理解したつもりになっていましたが、それは間違いでした。実際に現場に参加してみて自ら感じることの重要性が分かりました。</p>

会議記録（２）

安江委員	<p>本日は北本団地内の「中庭」で「手話ベリかふえ」の活動に参加しました。私が所属している北本市観光協会でも、若い職員が中心となって北本団地内や、市役所の芝生広場等で様々な活動をしております。そちらの活動にも是非足を運んでいただき、皆様の御助力をお願いします。</p>
上田委員	<p>「中庭」にカフェがあること自体知らなかったのですが、今回実際に参加して「中庭」の中で手話の活動など様々な活動が行われていることを知ることができました。</p>
大島委員	<p>地域活動の現場に参加してみて、自分の全く知らない世界だという感想を持ちました。大変勉強になりました。</p>
佐藤委員	<p>「手話ベリかふえ」の活動に参加してみて、このような機会がまたあるのであれば私も手話を覚えて手話で会話することができる友達を作りたいという意欲が湧いてきました。また、私自身は北本団地に住んでおり、北本団地に広く関わっていますが、地域活動の現場に実際に足を運んでみて初めて、地元でこのような取組があることを知ることができました。</p>
高松副委員長	<p>私は自分の所属している団体で「SARAちゃん食堂」という活動をしています。その活動の中で毎年お祝いのケーキを購入しているのですが、今年の購入先はまだ決まっておりました。本日「手話ベリかふえ」の活動に参加し、ここでケーキを作られているスタッフの方と交流したところ、今年のケーキを作ってもらえることになりました。このように地域の取組に参加して、そのつながりから新たな関わりが生まれることこそ、地域との連携だと感じました。</p>
西村会長	<p>私自身は「むすんでひらいて研究所」を設立し、人が地域活動に集まる「むすぶ」から、その活動を広げていく「ひらく」ことで住民による地域活動を発展させていく取組を行っています。本日は審議会として「手話ベリかふえ」の活動に実際に参加させて頂き、そこで「手話ベリかふえ」を立ち上げられた小倉さんや、「福祉と暮らしラボ」を立ち上げられた大塚さんとのつながりを作ることができました。</p> <p>また、聴覚に障がいがある方の目線でものを考えることができたため、多様な目線で住民による地域活動を考えるきっかけになりました。</p> <p>審議会委員の皆様も、事務局職員も、それぞれ所属している団体に本日の地域活動の現場への参加の体験を持ち帰って伝えていただきたいと思います。</p>

会議記録（２）

北本市社会 福祉協議会 大塚氏	<p>す。そこからまた、活動が広がっていけば素晴らしいと思います。</p> <p>本日は貴重な機会を頂いて審議会委員の皆様とのつながりをつくることができました。地域活動を広げていくには人とのつながりが大変重要だと思っています。また、携わっている人が楽しみながら活動しているということが重要です。楽しみながら活動していると周りの方も自然と集まり、さらにつながりが増え発展していくと思います。</p>
北本市社会 福祉協議会 小倉氏	<p>本日審議会委員の皆様に参加いただいた「手話べりかふえ」の活動をスタートした当時は、今日まで活動を継続する予定もありませんでしたし、そもそも活動ができるかどうかの不安もありました。そのような状況で始まった「手話べりかふえ」の活動でしたが、私自身も無理なく活動することで続けることができました。また、スタッフなど、周りの方たちが無理のない範囲で少しずつ協力していただいたことが今日まで活動を継続することができた要因だと思っています。人がつどい、つながることで発展することができたので、まちづくりにおいても、人とつながり、その活動を広げていくということが重要になると思います。</p>
西村会長	<p>その他御意見等ありますか。</p>
各委員	<p>【特になし】</p>
西村会長	<p>それでは、以上で本日の議事を終了し、進行を事務局にお戻しいたします。</p>
事務局	<p><b>3 閉会</b></p> <p>事務連絡ですが、審議会委員の皆様にお配りしたチェックシートは、御記入の上、令和5年3月10日までに投函してください。</p>
	<p>以上をもちまして、「令和4年度第2回北本市自治基本条例審議会」を閉会いたします。本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>